

一回生企画について

0、目次

- 1、一回生企画とは
- 2、一回生企画の指定本について
- 3、むすびにかえて

1、一回生企画とは

(1)目的

一回生企画とは、端的に言えば一回生に行ってもらおうプレ勉強会です。これは秋以降に本格的な勉強会を行う前に、通常よりも短めの時間で指定された本を使用して勉強会をつくってもらいます。この企画を通じて一回生にはテーマの選定や資料の探索などの準備プロセスだけでなく、発表時における説明のしかたなど、ひろく勉強会のつくり方、雰囲気も学んでもらい、秋の勉強会との架け橋を築くことが一回生企画の主な目的です。

(2)概要

(1)でも若干ふれましたが、通常の2時間半の勉強会よりも短めの時間で指定された本の中から自分の興味にあったものを選択し、その本の内容に沿って自分の勉強会を構築するものです。

(3)時期・時間

時期・・・6月の第一週目(4日、6日)と第二週目(11日、17日)を予定している

※ただし、人数の関係により若干の変更あり

時間・・・一人およそ45分を目安としている

2、一回生企画の指定本について

短い時間とはいえ初めての勉強会ということもあり、テーマを選ぶにしてもどんな本を選択していいか見当がつかない、あるいはまだ自分の興味がいまひとつ定まっていないのでテーマ選択が難しいなどの事態もあることでしょう。そこでこちらから3冊の特定分野の書籍を指定し、その中から自分が興味を持った本を選択するという形式を採用し、ある程度の枠をはめました。

指定本の中に興味を引かれるものがない人やすでに自分の探求したい学問がある人は、自分の思い通りの勉強会をつくることができないことに不満を抱くでしょう。

その不満は理解できるものですが、しかしこの企画を通して学んでほしいことはセッション1に掲げたことにとどまらず、一回生同士の交流を深めることも隠れた(?)目的の一つなのです。同じ本を選んだ人とは本の内容が共有されており、内容や関連するテーマを話題にすることで、普段あまり話したことの無い人でもいくぶん話しやすくなるはずです。

主にそのような意図から、指定本を提示することにしました。不満の残る人はいるかもしれませんが何分ご理解のほどをお願いします。なお、各指定本の内容・ジャンルは以下の通りです。

●杉田敦 『デモクラシーの論じ方』 ちくま新書 2001年

「民主主義とは何か?」という問題を対談形式で論じている本。「民主主義」からはじまって「二大政党制」や「憲法」、「国民」など扱われているテーマは幅広い。

国内政治・政治思想を勉強したい人向け。

●加藤尚武 『戦争倫理学』 ちくま新書 2003年

「戦争」をテーマとし様々な切り口から論点を提示している本。カントやヘーゲルの戦争観といった哲学的な内容から、イラク戦争や9条問題といった具体的な問題も収録。

国際政治・思想系を勉強したい人向け。

●佐藤卓己 『メディア社会』 岩波新書 2006年

「第4の権力」といわれるメディアと現代社会とのありようをみつめた本。つかみどころのないメディアを小泉前首相のテレビ政治やホリエモン騒動等の具定例を示し分析する。

メディアやひろく社会学を勉強したい人向け。

3、むすびにかえて

以上が大まかな一回生企画の内容です。しかし、説明されても具体的なイメージがわからないというのが正直なところだと思います。そのような場合はボックス等にいる上回生をつかまえて、わからないことや質問したいことを何でも聞くのが一番良い解決策です。また、上回生がどのようなレジュメを作成したのか知りたい場合には、田辺・新町両校地のボックスに勉強会ファイルがありますのでご参考下さい。

より良い勉強会が出来るよう、一回生に対する助言や支援は最大限にするつもりです。上回生などを上手く使って、自分の納得のいく勉強会を構築して下さい。ご健闘をお祈りしています。